

令和7年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (2月26日実施)	総合評価(3月16日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①自立と社会参加を目指し、一人ひとりの確かな学びを支える教育課程を編成する。 ②児童・生徒のいのちを守る教育を推進する。	①児童・生徒が自立と社会参加を意識し、身につけた力について学べる教育内容の充実を図る。 ②交通安全や防災教育、人権教育といった「いのちを守る」教育を学校生活全般で実践する。	①学びの連続性を踏まえた年間授業計画をいかし、情報機器を効果的に活用した授業実践を推進する。 ②発達段階に応じて内容・場面を工夫し、各学部で「いのちを守る」観点で指導を進める。	①「身につけたい力」の育成に向け、実態に応じた授業を実践できたか。 ②「いのちを守る」指導を実践し、必要な知識・技能を育成できたか。	①校内研究や情報機器活用により身につけた力について学べる教育内容を充実させた。 ②通年で防災訓練を本校・分教室で実施した。	①児童・生徒の実態変化に応じて柔軟に対応できる教育課程と指導内容の整理。 ②防災訓練の継続及びいのちを守る教育のアップデート。	<学校運営協議会> ①評価基準を満たした。取組を継続してほしい。 <保護者アンケート評価> ①「将来の自立につながる学習内容提供」肯定評価87% ②「安全・防災に配慮された取組」肯定評価88%	①校内研究や情報機器活用により身につけた力について学べる教育内容を充実させた。 ②通年で防災訓練を本校・分教室で実施した。	①児童・生徒の実態変化に応じて柔軟に対応できる教育課程と指導内容の整理。 ②防災訓練の継続及びいのちを守る教育のアップデート。
2 (幼児)・児童・生徒指導・支援	①アセスメントを踏まえた児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援を組織的に実践する。	①アセスメントを授業づくりに反映し、系統性を踏まえた授業改善を推進する。	①標準検査や日常場面における行動観察の情報をもとに、校内研究をいかした指導を行う。	①アセスメント結果を授業づくりに反映し、授業改善を実践できたか。	①アセスメント研修を踏まえた校内研究において97%の職員が系統性を考える機会になったと回答した。	①引き続きアセスメント研修を行い、児童・生徒のニーズに応じた指導に活かす。	<学校運営協議会> ①評価基準を満たした。取組を継続してほしい。 <保護者アンケート評価> ①「実態を的確に把握した目標・手立て設定」肯定評価93%	①アセスメント研修を踏まえた校内研究において97%の職員が系統性を考える機会になったと回答した。	①引き続きアセスメント研修を行い、児童・生徒のニーズに応じた指導に活かす。
3 進路指導・支援	①障害のある児童・生徒及び関係者が将来の社会生活に見通しを持てるようにするとともに、本人参加による進路選択の実現に向けた進路指導・支援を行う。	①児童・生徒一人ひとりの進路支援に向けて、教員の知識の向上を図る。 ②校内や地域に向けた卒業後の進路や地域生活に関する情報発信の充実を図る。	①教員対象の研修(学習会や見学会)を実施する。 ②学校運営協議会の切れ目ない支援部会とも連携し、地域と共に学ぶ機会を設定する。	①学部等の実態に即した研修会(学習会や見学会)を実施し、進路支援に対する教員の知識・理解が深まったか。 ②福祉や進路に関する情報を校内および地域の方へ発信し、一定の評価を得られたか。	①7月を中心に複数回学部会等で進路研修を実施し、教員の知識向上を図った。 ②12月のタウンフェスタや学部通信、ホームページ等で進路に関する情報を発信した。	①新たな制度を含め情報を共有し適切な進路支援を行う。 ②情報発信の機会を確保し手段の工夫により発信内容及び範囲を広げる。	<学校運営協議会> ①②評価基準を満たした。取組を継続してほしい。 <保護者アンケート評価> ②「進路に関する情報発信」肯定評価88%	①7月を中心に複数回学部会等で進路研修を実施し、教員の知識向上を図った。 ②12月のタウンフェスタや学部通信、ホームページ等で進路に関する情報を発信した。	①新たな制度を含め情報を共有し適切な進路支援を行う。 ②情報発信の機会を確保し手段の工夫により発信内容及び範囲を広げる。
4 地域等との協働	①共生社会の実現を目指し、地域と連携し、地域の支援を充実させるとともに、地域と連携した学校づくりを推進する。	①特別支援教育のノウハウを地域へ発信するとともに、地域を支援する校内人材の育成を図る。 ②交流学习や地域との協働活動を進める。	①センター的機能をいかし、教材教具や支援の手立て等に関する情報を巡回相談やホームページ、研修会等を通じて発信していく。 ②地域との連携・協働を進めるために、各学部・分教室で色々な形での交流学习に取り組む。	①地域との連携や協働を通じて、校内の人材育成を図ることができたか。 ②地域に向けて情報を提供し、一定の評価を得ることができたか。 ③交流学习および地域との協働活動により地域との連携を進めることができたか。	①巡回相談を25校31回実施した。 ②「てとてだより」を年4回発行し、地域向け研修会を5回行った。 ③近隣小中高校との交流学习を実施した。学校公開には200名が来校した。	①引き続き巡回相談や公開研究発表会等で職員が地域に情報発信する。 ②研修会に加え「すぐる」等を活用した情報発信を検討する。 ③引き続き近隣校との交流学习を実施する。	<学校運営協議会> ①②評価基準を満たした。取組を継続してほしい。 <保護者アンケート評価> ①「学校と地域の連携」肯定評価68% ②「地域や保護者への情報発信」肯定評価78%	①巡回相談を25校31回実施した。 ②「てとてだより」を年4回発行し、地域向け研修会を5回行った。 ③近隣小中高校との交流学习を実施した。学校公開には200名が来校した。	①引き続き巡回相談や公開研究発表会等で職員が地域に情報発信する。 ②研修会に加え「すぐる」等を活用した情報発信を検討する。 ③引き続き近隣校との交流学习を実施する。

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (2月26日実施)	総合評価(3月16日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
5	学校管理 学校運営	<p>①安全な環境を整備し、安心して学ぶことができる学校づくりを推進する。</p> <p>②教職員が児童・生徒と向き合う時間を確保するため、職員の働き方改革を推進する。</p>	<p>①教育環境を計画的に改善し安全を確保する。</p> <p>②教職員の人権意識の向上を図る。</p> <p>③業務の整理や効率的な業務の遂行方法等を検討し、働き方改革を進める。</p>	<p>①教育環境の整備を進め、安全上必要な対策について職員間で共有する。</p> <p>②不祥事防止研修や人権研修等を実施し、学部ごとにテーマを設定し話し合う機会を持つ。</p> <p>③前年度の実績を踏まえ、各学部・グループで業務の見直しを進める。</p>	<p>①教育環境の整備や改善を図ることができたか。</p> <p>②研修会実施後、学部ごとにテーマを設定し取り組み、効率化を進めることができたか。</p> <p>③各学部・グループで業務の見直しに取り組む、効率化を進めることができたか。</p>	<p>①ICT機器の配置と11月の活用研修により教育環境を改善した。</p> <p>②7月の人権研修や毎月の職員会議等で人権意識向上を図った。</p> <p>③Teamsのチャットやオンライン会議システム活用による業務効率化を図った。</p>	<p>①プレハブ建設工事対応及び完成後の活用を円滑に行う。</p> <p>②人権研修を実際の指導や業務にいかすよう意識向上を図る。</p> <p>③統合型校務支援システム導入を円滑に進め、効果的に活用する。</p>	<p><学校運営協議会></p> <p>①②評価基準を満たした。取組を継続してほしい。③は概ね評価基準を満たしている。</p> <p><保護者アンケート評価></p> <p>①「ICT機器の授業での活用」肯定評価76%</p> <p>②「人権に配慮した取組」肯定評価88%</p>	<p>①ICT機器の配置と11月の活用研修により教育環境を改善した。</p> <p>②7月の人権研修や毎月の職員会議等で人権意識向上を図った。人権意識の更なる向上が課題</p> <p>③Teamsのチャットやオンライン会議システム活用による業務効率化を図った。働き方改革について組織的な取組が必要。</p>	<p>①プレハブ建設工事対応及び完成後の活用を円滑に行う。</p> <p>②人権研修を実際の指導や業務にいかすよう意識向上を図る。</p> <p>③統合型校務支援システム導入を円滑に進め、効果的に活用する。</p>